

## 木や林業の魅力体感

中区で まつり 静岡文化芸術大生が協力

木や林業の魅力を発信する「第31回もくもくまつり2018」(西部木材需要拡大推進協会主催、静岡新聞社・静岡放送後援)がこのほど、浜松市中区の静岡文化芸術大で開かれた。

若者が木に触れる機会を設けようと、今回初めて同大デザイン学科建築・環境領域の3年生4人が企画に協力し、告知チラシのデザインも担当した。

木で飾り付けをした講義室内で木に関するクイズに答えるイベント。来場した家族連れなどは木の種類や年輪などの問題に正解すると、葉の形をした木の板にメッセージを書き込み、切り株のオブジェに挿した。オブジェの前では記念撮影を行い、写真は天竜材のフォトフレームとともに贈られた。



葉の形をした木の板を切り株のオブジェに挿す来場者  
＝浜松市中区の静岡文化芸術大

企画した同大の安江朱音さん(20)は、楽しそうに遊ぶ子どもたちを見守りながら「今後も木に関心を持ち続けてくれれば」と話した。